

# 令和6年度 研究の推進について

R06.04.01 全校教育研究会

長野県教育委員会

学びの改革パイオニア校 ～「探究」推進のための研究～ 指定校（2年次）



[https://twitter.com/F\\_Nagano\\_JH](https://twitter.com/F_Nagano_JH) (X)



[https://www.instagram.com/shindai\\_fuzoku\\_nagano\\_jh/](https://www.instagram.com/shindai_fuzoku_nagano_jh/) (Instagram)



信州大学  
SHINSHU UNIVERSITY

教育学部  
附属長野中学校

# 令和5年度までの研究の経緯

## 【学習指導要領（平成29年告示）】

研究情報 P.1

「生きる力」を育むために  
子供たちの学びはどう進化するの？

**主体的・対話的で深い学び** (アクティブ・ラーニング) の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。



一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に  
見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に  
自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

**カリキュラム・マネジメント** を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



学校教育の効果を実証して改善する



教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

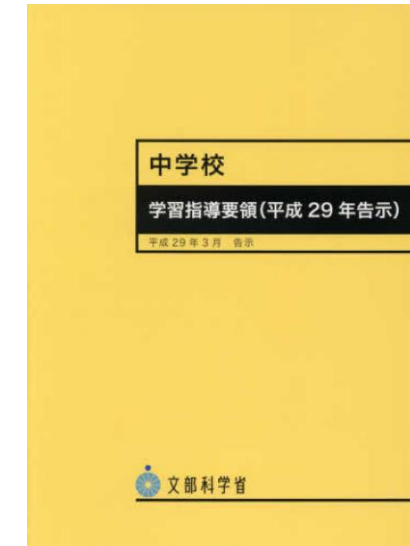
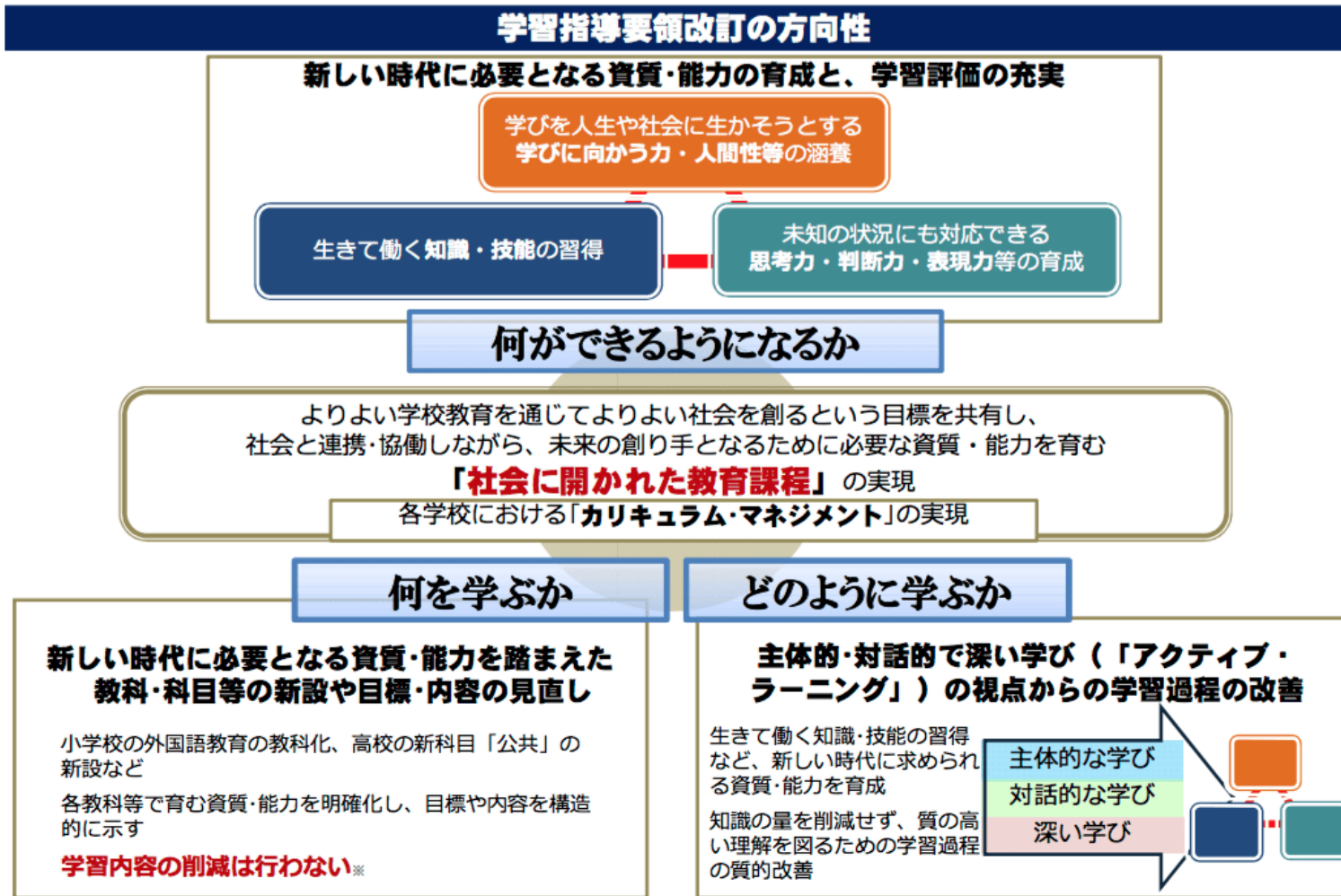


社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、**三つの力をバランスよく**育みます。

# 令和5年度までの研究の経緯

研究情報 P.1

## 【学習指導要領（平成29年告示）】



中学校学習指導要領を  
どう具現するか



附属長野中学校の  
研究の核

※高校教育については、些末な事象的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、  
そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

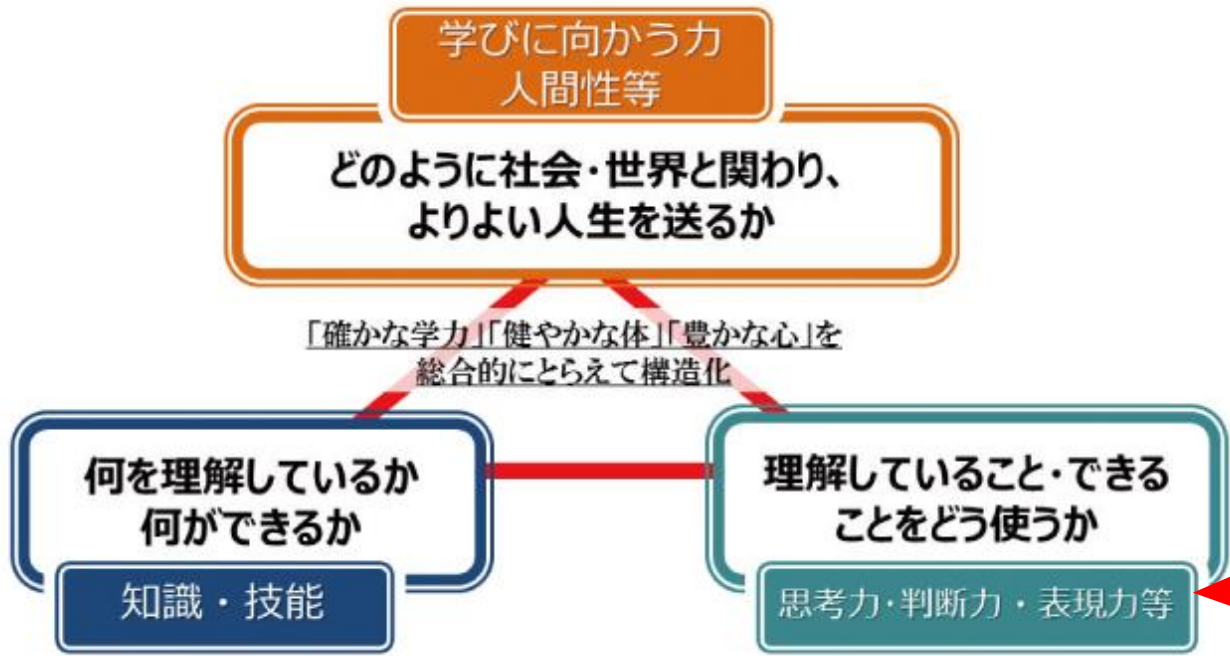
# 令和5年度までの研究の経緯

## 【令和元年度～令和2年度の研究】

研究情報 P.1

**研究主題** **本質に迫る教科学習の在り方**  
— 問題発見・解決の過程における生徒の姿に焦点を当てて —

育成すべき資質・能力の三つの柱



教科の本質から、学びの本質へと対象を拡げていくことを視野に入れ、各教科等の本質に迫る学習を目指すことによって、「問題発見・解決能力」の育成を図った

「思考力・判断力・表現力等」に焦点をあてた研究を実践

# 令和5年度までの研究の経緯

研究情報 P.1

## 【令和3年度～令和4年度の研究】

**目指す生徒の姿**      学びを拓いていく生徒

＜学びを拓いていく生徒の捉え＞

- ① 各教科等の資質・能力を身に付けていく生徒
- ② ①を踏まえて、身に付けた資質・能力を他に生かしたり、新たに見いだした課題を解決しようとしたりしながら学び続けていく生徒

**【教科等の本質】** 各教科等の資質・能力を身に付けていくこと

**【学びの本質】** 各教科等の枠を超えて、自ら「見方・考え方」を働かせて、物事を問い続けたり、追究したりして学び続けていくこと

**全校研究**  
**テーマ**      学びの本質に迫る学習の在り方

「各教科等の本質」  
 を目指す中で「**学びの本質**」が生まれる

# 令和5年度の研究（1年次）の実際

研究情報 P.2

## 【全校研究テーマを考える（研究の仮説）】

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

「新たな価値を創造できる資質・能力」が育成されている

「各教科等で育成を目指す資質・能力」を土台とした資質・能力

ア 問題発見・解決能力（各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと）

イ 批判的思考力（多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと）

ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力

（自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとするなど）

キャリア教育とSTEAM教育を視野に入れた

「キャリア×STEAM」の学びという新たな学びによって育成できる

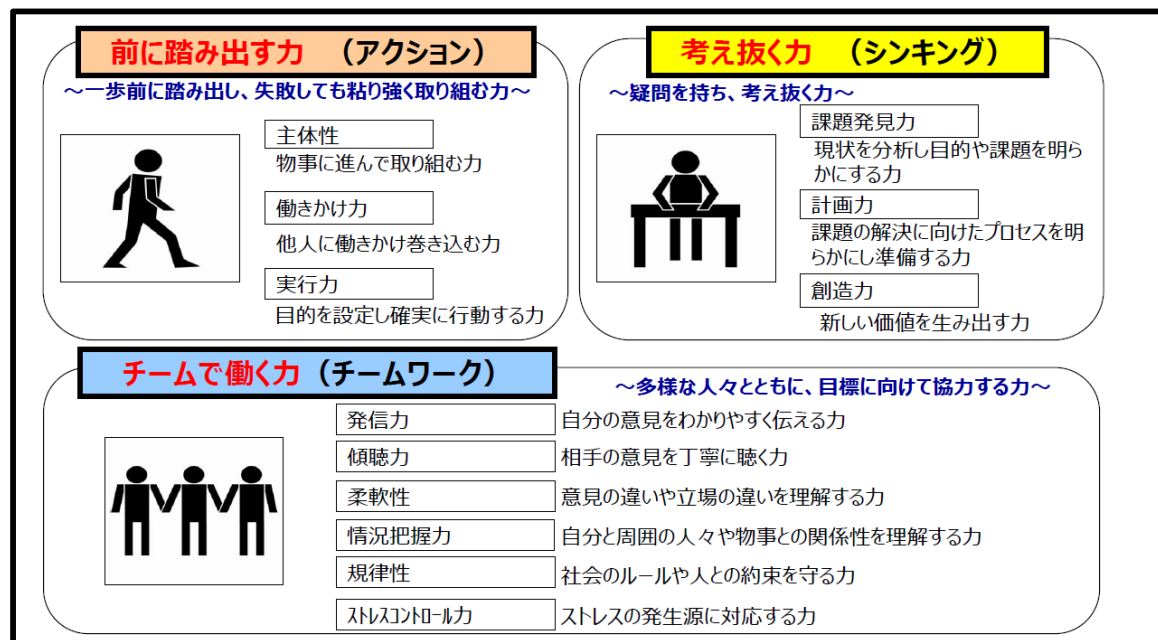
 全校研究  
テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

# 令和5年度の研究（1年次）の実際

## 【研究1年次の成果（本校のキャリア教育とSTEAM教育の捉え）】

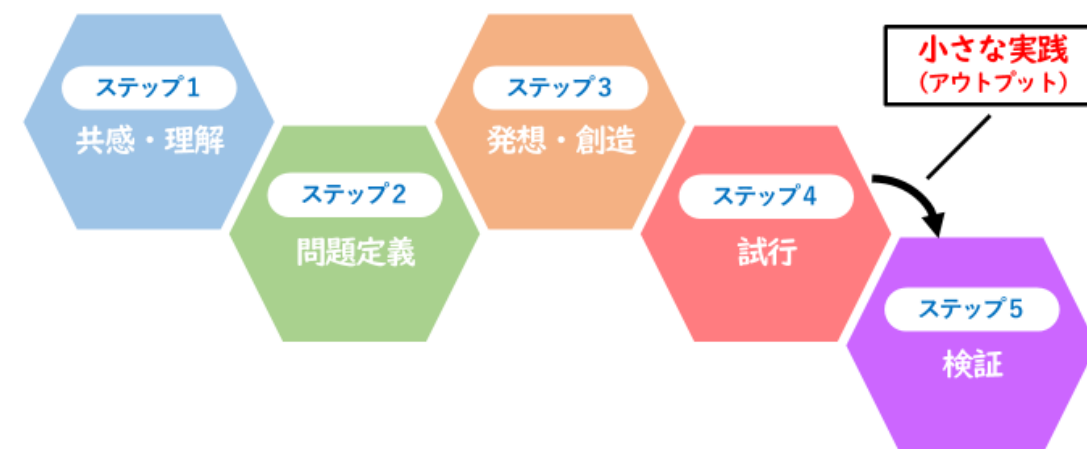
研究情報 P.3



経済産業省『「人生100年時代の社会人基礎力」と「リカレント教育」について』（2018）より

キャリア教育は、2030年問題などの新たな課題に対応するために、  
**「社会人基礎力」などの社会人としての共通能力の育成する学習**

## デザイン思考と小さな実践（アウトプット）



STEAM教育は、教科の枠を超えて、  
**実生活・実社会の諸課題（正解のない問い、最適解・納得解など）を解決する学習**

# 令和5年度の研究（1年次）の実際

## 【研究1年次の成果（「新たな価値を創造できる資質・能力」の育成に向けた研究の方向性）】

目指す生徒の姿

### 豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

本校で育成を目指す“新たな価値を創造できる資質・能力” ⇒ 「各教科等で育成を目指す資質・能力」を土台とした資質・能力

- ア 問題発見・解決能力（各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと）
- イ 批判的思考力（多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと）
- ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力  
（自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとする力）

全校研究  
テーマ

### 「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

研究の重点1（【教科等の本質】に迫るために）

問題発見・解決の過程において、各教科等の「見方・考え方」を働かせ、学んでいることや学んだことの意味や価値を自覚することができるようにする

**I：教科・アプローチ 各教科等の授業**

学習指導要領の具現を目指した学習（実生活・実社会の諸課題の解決につながる学習）

**II：プル・アプローチ <新設領域>あさひのユニット【教科横断型の授業】**

複数教科が教科の枠にとられない学習（実生活・実社会の諸課題の解決をする学習）

研究の重点2（【学びの本質】に迫るために）

現代的な諸課題に向かう中で、自分の可能性や価値を認識し、社会に生かそうとすることができるようにする

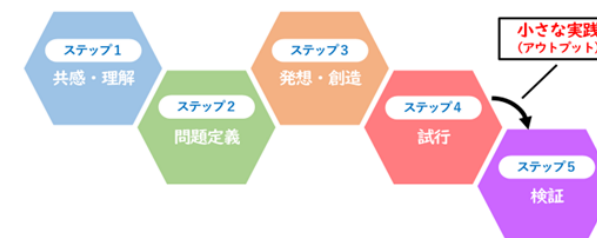
**III：プッシュ・アプローチ あさひのプロジェクト【社会参画型の授業】**

地域や実社会と関わり、社会の一員としての自覚や将来への見通しをもてるような探究的な学習

**社会人基礎力（3つの能力・12の能力要素）**

- ・前に踏み出す力 ～失敗しても粘り強く取り組む力～
- ・考え抜く力 ～疑問を持ち、考え抜く力～
- ・チームで働く力 ～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

**デザイン思考と小さな実践（アウトプット）**





# 令和5年度の研究（1年次）の実際

## 【研究1年次の成果（三つのアプローチによる公開研究（秋の公開））】

令和5年度 信州大学教育学部附属長野中学校 秋の公開

【研究主題】「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成（1年次）  
 【期 日】令和5年9月11日（月）～11月6日（月）  
 【主 催】信州大学教育学部附属長野中学校 学校長 北澤 嘉孝  
 中学校教育研究会推進代表 副校長 畑 邦弘  
 【後 援】長野県教育委員会・長野市教育委員会・信濃教育会・長野上水内教育会  
 【公開授業】 13:10～14:00  
 【校内自由参観・教科内指導への参加】 14:10～15:00  
 【授業研究会】 15:30～16:30

※日程の詳細は学校HPでご確認ください



あさひのプロジェクト【社会参画型】（企業や高校との交流、実地調査、成果発表会）



日付	公開教科・領域	単元名・題材名（教科学習、あさひのユニット、あさひのプロジェクト） 研究アプローチの種別 教科の学び	授業者 （授業年級）	指導者	共同研究者
9月11日 （月）	英語	「ALTと一緒に歌うために、英語版校歌をつくろう」 I:教科・アプローチ 「Lesson4【自分のまをを紹介しよう】の学びを生かして」	入間川 浩信 己 教諭 （1年B組）	文部科学省中等教育司 教育課程科 外国語教育推進室 教科調査官 入之内 昌雄 先生（指導者）	
9月15日 （金）	社会・家庭 ※午前開催	「南堀地区の方と協働して、地域の課題を解決しよう」 II:プル・アプローチ（教科横断型） 「社会：地域の在り方」「家庭：これからの家族と地域」	丸山 達一 教諭 （2年D組）	北信教育事務所指導主事 百田 美希 先生 信州大学准教授 鶴崎 正典 先生 学びの改革支援推進指導主事 小川 里美 先生 信州大学准教授 福田 典子 先生	
9月20日 （水）	探究 （総合）	「社会の中で生きる私」（あさひのプロジェクト） III:プッシュ・アプローチ（社会参画型） 「長野電鉄チーム・ザリガニチーム」	牧島 司 教諭 （3年）	北信教育事務所指導主事 小川 浩貴 先生 信州大学助教 小倉 光明 先生	
9月21日 （木）	道徳・美術	「他者と共に生きる一美術鑑賞のカクチ “ソーシャル・ビュー”ってなんだー」 II:プル・アプローチ（教科横断型） 「道徳：題材名「私の話を聞いてね」、内容項目9 相互理解、寛容」「美術：対話による美術作品の鑑賞」	村田 茜 教諭 （1年E組）	北信教育事務所指導主事 子野 正 先生 総合教育センター専任主事 城本 重慶 先生 信州大学准教授 高柳 克利 先生 信州大学助教 大島 賢一 先生	
9月29日 （金）	数学	「附属長野中学校のAEDの最適な設置場所は？」 I:教科・アプローチ 「データの活用」	金子 智 教諭 （1年C組）	北信教育事務所指導主事 清水 和 先生 信州大学助教 茅野 公雄 先生 信州大学講師 榎本 智士 先生	
10月20日 （金）	保健体育	「クラスみんなが楽しめるネット型ゲームをつくろう」 I:教科・アプローチ 「球技・ネット型・連携」	堀口 はるか 教諭 （3年B組）	北信教育事務所指導主事 朝霧 舞彦 先生 信州大学教授 岩田 靖 先生	
10月23日 （月）	技術・特別活動	「どうする!?2030年の生活」 II:プル・アプローチ（教科横断型） 「技術：エネルギーミックスを電力会社に提案しよう」「特活：社会の中でどのように生きていこうか考えよう」	堀内 直人 教諭 （2年E組）	学びの改革支援推進指導主事 五味 和 高 先生 北信教育事務所主任指導主事 星野 里 弘 先生 信州大学教授 村松 浩幸 先生 信州大学准教授 安達 仁 先生	
11月6日 （月）	理科	「マイコンプターをつくろう」 I:教科・アプローチ 「光の世界」	平澤 峻 教諭 （1年A組）	北信教育事務所指導主事 宮崎 崇 先生 信州大学教授 天谷 健一 先生	

右側のQRコードから「申し込みフォーム」を通じてお申込みください。  
 ※学校HP、公式SNSでは、公開に関する情報を随時更新しています。ご覧ください。



信州大学教育学部附属長野中学校 公開事務局（担当：柳澤 征之）  
 〒381-0016 長野市南堀109 TEL: 026-243-0633/FAX: 026-263-0901  
 Email: [nc\\_ikumiyokyo@shinshu-u.ac.jp](mailto:nc_ikumiyokyo@shinshu-u.ac.jp) 学校HP: <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/fuzoku/naganochu/>  
 SNS: [https://twitter.com/F\\_Nagano\\_JH](https://twitter.com/F_Nagano_JH) (x) [https://www.instagram.com/shindai\\_fuzoku\\_nagano\\_jh/](https://www.instagram.com/shindai_fuzoku_nagano_jh/) (Instagram)

### 【英語科】教科学習 I：教科・アプローチ

単元名：ALTと一緒に歌うために、英語版校歌をつくろう

### 【社会科・家庭科】あさひのユニット II：プル・アプローチ

単元名：南堀地区の方と協働して、地域の課題を解決しよう

### 【総合】あさひのプロジェクト III：プッシュ・アプローチ

単元名：社会の中で生きる私

三つのアプローチによる8つの公開授業を実施（詳細は本校HPや連合レポートを参照）

# 令和6年度の研究（2年次）の概要

研究情報 P.2

## 【令和6年度の研究の仮説】

目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

「新たな価値を創造できる資質・能力」が育成されている

「各教科等で育成を目指す資質・能力」を土台とした資質・能力

ア 問題発見・解決能力（各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと）

イ 批判的思考力（多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと）

ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力

（自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとするなど）

キャリア教育とSTEAM教育を視野に入れた

「キャリア×STEAM」の学びという新たな学びによって育成できる

 全校研究  
 テーマ

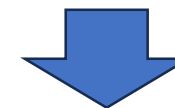
「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

# 令和6年度の研究（2年次）の概要

## I：教科・アプローチ 各教科等の学習

学習指導要領の具現を目指した学び

- 各教科の見方・考え方を働かせ、  
各教科等の資質・能力の育成
- 実生活・実社会の諸課題の解決に向かう  
素地づくり



## II：プル・アプローチ 新設教科

### あさひのラーニング【学際的な学習の時間】 (教科横断型の学習)

各教科での学習を、実社会での問題発見・解決に  
生かしていく教科横断的な学び

- 新たな価値を創造できる資質・能力の育成
- 教科学習とあさひのプロジェクトをつなぐ  
学び・教科横断的な視点を引き出す  
(実生活・実社会の諸課題を見だし、  
解決に向かう素地づくり)



## III：プッシュ・アプローチ

### あさひのプロジェクト【総合的な学習の時間】 (社会参画型の学習)

地域や実社会と関わり、社会の一員としての自覚や  
将来への見通しをもてるような探究的な学び

- 新たな価値を創造  
できる資質・能力  
の育成および発揮
- 実生活・実社会の  
諸課題を解決する  
学習

# 令和6年度の研究（2年次）の概要

## 【令和6年度の研究の手立て】

研究情報 P.2~3

全校研究  
テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

### I：教科・アプローチ 各教科等の学習

学習指導要領の具現を目指した学び

研究の重点1（【教科等の本質】に迫るために）

問題発見・解決の過程において、各教科等の「見方・考え方」を働かせ、学んでいることや学んだことの意味や価値を自覚することができるようにする

### II：プル・アプローチ <新設教科> あさひのラーニング【学際的な学習の時間】

各教科での学習を、実社会での問題発見・解決に生かしていく教科横断的な学び

研究の重点2（【学びの本質】に迫るために）

現代的な諸課題に向かう中で、自分の可能性や価値を認識し、社会に生かそうとすることができるようにする

### III：プッシュ・アプローチ あさひのプロジェクト【総合的な学習の時間】

地域や実社会と関わり、社会の一員としての自覚や将来への見通しをもてるような探究的な学び

# 令和6年度の研究（2年次）の概要

## 【令和6年度の研究は“カリキュラム開発”】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<b>学校行事等</b> 公開・研修会関係 教育実習	入学式 学友総会① 3年宿泊行事	春の研修会 1年宿泊行事	教育実習Ⅰ	夏の研修会 H・W 保護者懇談会		教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	中学校 教育研究会 学習発表会	PTA、V 学友会選挙	保護者懇談会 学友総会②	長野県連合 教師研究会		送別音楽会 学友総会③ 卒業式
<b>異学年交流・成果発表会</b>			情報交換会 (1・3年)	成果発表会① (2・3年)		校内社会 体験学習 (2・3年)	→	実践交流会 (ワークショップ) (成果発表交流会)	成果発表会② (1・3年)	情報交換会 (1~3年)	成果発表会③ (1・2年)	
<b>「スキルアップ講座」</b> (授業・講演会・座談会)		講演会①	座談会	講演会②		講演会③		講演会④		座談会	講演会⑤	
STEAM、デザイン思考、社会人基礎力、質問力・プレゼン力、ビジネスマナーなどに関する講座【20時間】												
<b>3学年</b> あさひのラーニング 【計55時間】 あさひのプロジェクト 【計60時間】	テーマ学習【15時間】「AIの人類の共存」					ユニット学習【10時間】1～2単元（STEMなど）						
講座学習【10時間】「STEAM・探究講座」「キャリア講座」												
これからの社会を生きる私 (第2期)【50時間】										これからの社会を生きる私 (第3期)【10時間】		
<b>2学年</b> あさひのラーニング 【計55時間】 あさひのプロジェクト 【計60時間】	テーマ学習【5時間】「2040年問題と私」				テーマ学習【10時間】 「あったらいいな、こんなもの」			ユニット学習【5時間】1単元（STEMなど）				
講座学習【10時間】「キャリア講座」					講座学習【5時間】「STEAM・探究講座」							
これからの社会と関わる私 【20時間】					これからの社会を生きる私 (第1期)【40時間】							
<b>1学年</b> あさひのラーニング 【計45時間】 あさひのプロジェクト 【計50時間】	テーマ学習【10時間】 「持続可能な社会と私」			講座学習【15時間】 「STEAM・探究講座」「キャリア講座」								
これからの社会に触れる私 (第1期)【40時間】					これからの社会に触れる私 (第2期)【10時間】							

# 令和6年度の研究（2年次）の概要

## 【令和6年度 公開研究会等の日程】

### 【教科研修会Ⅰ】 5 / 15 (水)

Ⅰ：教科・アプローチ（9教科公開）

### 【教科研修会Ⅱ】 7 / 3 (水)

Ⅰ：教科・アプローチ（9教科公開）

### 【中学校教育研究会】 10 / 18 (金)

Ⅱ：プル・アプローチ（座学&活動）＜全学年＞

Ⅲ：プッシュ・アプローチ（成果発表会）＜全学年＞

授業研究会（「キャリア×STEAM」の学習のカリキュラムについて）

講演会 京都大学大学院 准教授 石井英真 先生

#### ＜職員研修会＞

4/27 内閣府 白井俊 先生

5/17 京都大学大学院 石井英真 先生

#### ＜連合レポート＞

前期を中心に校内研で事例取りを実施

※ 教科研修会での実施も可

#### ＜オンライン情報交換会＞

① 評価・テスト作成について（7月末）

② 県外視察報告について（12月）

※体育館改修工事のため「全校音楽集会」は実施しない方向

# 探究的な学びについて (三つのアプローチの位置付け)

 教師  
主導

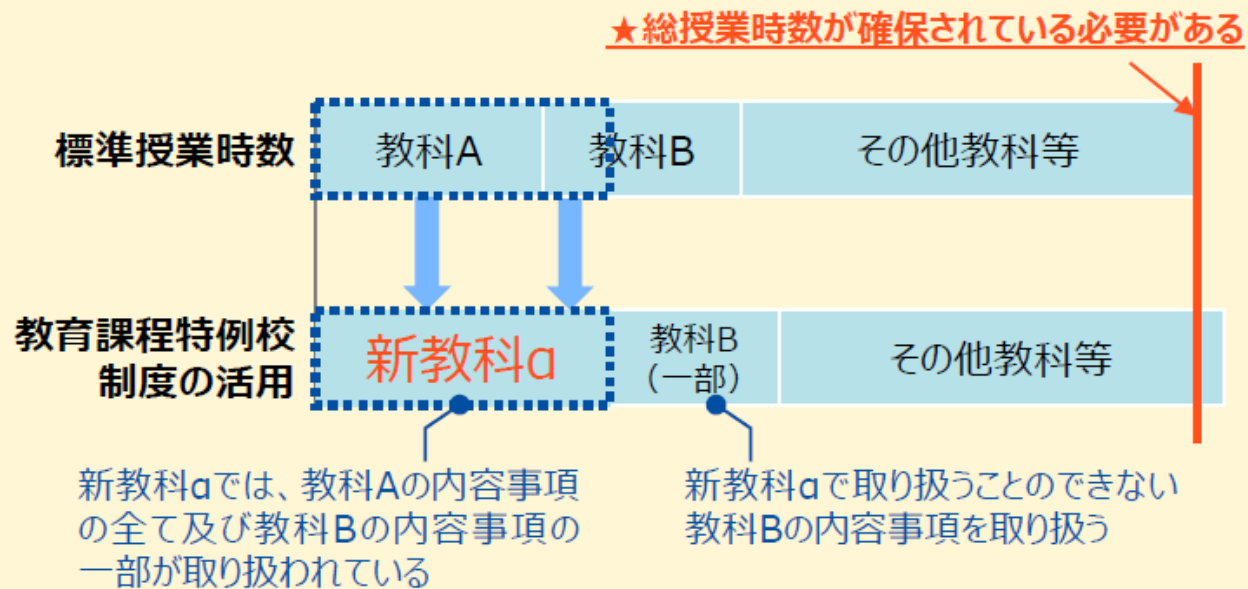
 生徒  
主導

「探究」のレベル	問い	手続	解法	
①確認のため探究 前もって結果が分かっている場合に、活動を通じて原理を確認する。	教師	教師	教師	教科・ アプローチ
②構造化された探究 与えられた手続にしたがって、教師が示した問いについて実験する。	教師	教師		
③指導された探究 生徒が自分でデザインしたり、選択した手続を用いて教師が示した問いについて実験する。	教師			プル・ アプローチ
④オープンな探究 生徒がデザインしたまたは選択した手続を用いて、生徒が立てた問いについて調査する。				プッシュ・ アプローチ

## 教育課程特例校制度

学校又は地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するための特別の教育課程を編成することを認める制度

教育課程特例校における授業時数のイメージ



★学習指導要領の内容事項は、特別の教育課程において適切に取り扱われる必要がある

教科	1学年	2学年	3学年
国語	132(-8)	132(-8)	100(-5)
社会	100(-5)	100(-5)	132(-8)
数学	132(-8)	100(-5)	132(-8)
理科	100(-5)	132(-8)	132(-8)
音楽	44(-1)	34(-1)	34(-1)
美術	44(-1)	34(-1)	34(-1)
保健体育	100(-5)	100(-5)	100(-5)
技術・家庭	66(-4)	66(-4)	34(-1)
外国語	132(-8)	132(-8)	132(-8)
道徳	35(-0)	35(-0)	35(-0)
総合的な学習の時間 あさひのプロジェクト	50(-0)	60(-10)	60(-10)
特別活動	35(-0)	35(-0)	35(-0)
学際的な学習の時間 あさひのラーニング	45	55	55



## 目標 (学際的な学習の時間)

各教科の枠組みだけでは解決できない、現代社会の諸問題やSDGsにかかわる諸問題などの学際的な諸問題をテーマに設定し、各教科の見方・考え方を働かせて、探究的な学習を行うことで、各教科での学びを、実社会での問題発見・解決に生かしていく教科横断的な学習を行う。また、そのために必要な知識や技能を身に付ける学習も行う。



テーマ学習 ・ ユニット学習 ・ 講座学習

三つの学習を実施する

## ① テーマ学習

1つのテーマを解決するために、教科の枠にとらわれずに  
追究する学習

### <テーマの例>

- ・ 1 学年 「持続可能な社会と私」
- ・ 2 学年 「2040年問題と私」
- ・ 2 学年 「あったらいいな、こんなもの」
- ・ 3 学年 「AIと人類の共存」

### <つきたい力 (一部) >

- ・ 問いを立てる、先行研究等を調べる
- ・ テーマからリサーチクエスチョンを導く
- ・ 仮説を立てる、探究活動の計画を立てる
- ・ テーマからデザイン思考を活用して  
アイデアを発想・創造する
- ・ 結論を論文などにまとめる

### <学習の流れ>

- ・ テーマに対する自分の問いを追究し、答えをスライドにまとめる
- ・ **教科の視点から追究できるような資料の配付や講義を行う**

## ② ユニット学習

一つのテーマを解決するために、2～3教科でユニットを組み、追究する学習

### <ユニット学習の例>

- ・ 数学×理科×技術 (STEM)
- ・ 社会×家庭 (世界各国のラーメンづくり)
- ・ 音楽×美術×保体 (創作ダンスパフォーマンス)

### <学習の流れ>

- ・ 共通のテーマに対して、**各教科の特性を生かしたアプローチ**で追究し、テーマに対する答えをまとめる

## ③講座学習

探究的な学びに必要な資質・能力についての理解を深め、身に付ける学習

### <講座>

- ・ STEAM・探究講座 (STEAMライブラリーの活用など)
- ・ キャリア講座 (社会体験学習との連携など)
- ・ スキルアップ講座 (外部講師による講演会など)

### <学習の流れ>

- ・ 主に、講師による講演会や生徒同士の座談会で実施する  
(「課題研究のメソッド」など、職員による授業も実施する)

## 目標（総合的な学習の時間）

探究的な見方・考え方を働かせ、デザイン思考の過程の中で自分のできる実践を繰り返し行うことを通して、**自分の考えを広げ深めながら課題を解決し、実生活・実社会における自分の可能性や価値を認識し、社会に生かそうとする意欲を高める。**



- これからの社会に触れる
- これからの社会と関わる
- これからの社会を生きる

の三つの単元を実施する

# あさひのプロジェクト (総合的な学習の時間) について

- ・ これからの社会に触れる私 (1学年：50時間・4～3月)
  - 【第1期】 持続可能な社会の実現に向けた活動 40時間・4～12月
  - 【第2期】 大切にしたい私の生き方の追究 10時間・1～3月
- ・ これからの社会と関わる私 (2学年：35時間・4～8月)
  - 【あさひのプロジェクト】 20時間
  - 【あさひのラーニング】 15時間 → 計35時間
  - テーマ学習「2040年問題と私」、講座学習「キャリア講座」
- ・ これからの社会を生きる私 (2～3学年：100時間)
  - 【第1期】 チーム編成 40時間・9～3月 (2学年)
  - 【第2期】 チーム別活動 50時間・4～12月 (3学年)
  - 【第3期】 活動のまとめ 10時間・1～3月 (3学年)

# あさひのプロジェクト (総合的な学習の時間) について

	令和6年度 (2024年度)			令和7年度 (2025年度)			令和8年度 (2026年度)		
	4~8月	9~12月	1~3月	4~8月	9~12月	1~3月	4~8月	9~12月	1~3月
R4年度 入学生	チームの編成・活動 (実生活・実社会への社会貢献)		活動終了 (引き継ぎ)						
R5年度 入学生	社会体験 学習 (14歳の問い)	校内社会 体験学習 (異学年交流)	チームの編成・活動 (実生活・実社会への社会貢献)			活動終了 (引き継ぎ)			
R6年度 入学生	コースの編成・活動 (身近な社会貢献)		生き方を 考える (13歳の節目)	社会体験 学習 (14歳の問い)	校内社会 体験学習 (異学年交流)	チームの編成・活動 (実生活・実社会への社会貢献)		活動終了 (引き継ぎ)	
R7年度 入学生				コースの編成・活動 (身近な社会貢献)		生き方を 考える (13歳の節目)	社会体験 学習 (14歳の問い)	校内社会 体験学習 (異学年交流)	チームの 編成・活動 (実生活・実社会への社会貢献)
R8年度 入学生							コースの編成・活動 (身近な社会貢献)		生き方を考 える (13歳の節目)

※ 校内社会体験学習 (異学年交流) とは、2年生が3月までにチームを立ち上げるために、3年生のチーム別活動に参加して、活動を体験したり異学年で交流したりする活動

# 「キャリア×STEAM」の学習のカリキュラム (案)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<b>学校行事等</b> 公開・研修会関係 教育実習	入学式 学友総会① 3年宿泊行事	春の研修会 1年宿泊行事	教育実習 I	夏の研修会 H・W 保護者懇談会		教育実習 I 教育実習 II	中学校 教育研究会 学習発表会	PTA バザー 学友会選挙	保護者懇談会 学友総会②	長野県連合 教科研究会		送別音楽会 学友総会③ 卒業式
<b>異学年交流・成果発表会</b>			情報交換会 (1・3年)	成果発表会① (2・3年)		校内社会 体験学習 (2・3年)	→	実践交流会 (ワークショップ) 成果発表交流会	成果発表会② (1・3年)	情報交換会 (1~3年)	成果発表会③ (1・2年)	
<b>「スキルアップ講座」</b> (授業・講演会・座談会)		講演会①	座談会	講演会②		講演会③		講演会④		座談会	講演会⑤	
STEAM、デザイン思考、社会人基礎力、質問力・プレゼン力、ビジネスマナーなどに関する講座【20時間】												
<b>3学年</b> あさひのラーニング 【計55時間】 あさひのプロジェクト 【計60時間】	テーマ学習【15時間】「AIの人類の共存」					ユニット学習【10時間】1～2単元 (STEMなど)						
講座学習【10時間】「STEAM・探究講座」「キャリア講座」												
これからの社会を生きる私 (第2期)【50時間】										これからの社会を生きる私 (第3期)【10時間】		
<b>2学年</b> あさひのラーニング 【計55時間】 あさひのプロジェクト 【計60時間】	テーマ学習【5時間】「2040年問題と私」				テーマ学習【10時間】 「あったらいいな、こんなもの」			ユニット学習【5時間】1単元 (STEMなど)				
講座学習【10時間】「キャリア講座」					講座学習【5時間】「STEAM・探究講座」							
これからの社会と関わる私 【20時間】					これからの社会を生きる私 (第1期)【40時間】							
<b>1学年</b> あさひのラーニング 【計45時間】 あさひのプロジェクト 【計50時間】	テーマ学習【10時間】 「持続可能な社会と私」			講座学習【15時間】 「STEAM・探究講座」「キャリア講座」								
これからの社会に触れる私 (第1期)【40時間】					これからの社会に触れる私 (第2期)【10時間】							



# 令和6年度の研究推進について（プロジェクト提案）

## 【研究推進の時間の確保】 R5年度プロジェクト（研究・行事の精選）提案より

時間割（曜日固定スライド）で運用し、**月歴段階で調整していく**

	月	火	水	木	金
短学活(10') 8:00~8:10	学級対応	学友会対応	学年対応/学年集会	学友会対応	学級対応
1時間目(50') 8:20~9:10	1	6	11	14	20
2時間目(50') 9:20~10:10	2	7	12	15	21
3時間目(50') 10:20~11:10	3	学級活動	道徳	16	22
4時間目(50') 11:20~12:10	4	8	13	17	23
昼休み(60') 12:10~13:10					
5時間目(50') 13:10~14:00	5	9	【探究の時間】	18	24
6時間目(50') 14:10~15:00		10	あさひの Learning (学際的な学習の時間)	19	25
清掃 (10~15')	14:20~ 14:35 (15')	学校裁量 (30') 15:10~ 15:40	あさひのプロジェクト (総合的な学習の時間) (150') 13:10~15:40	15:10~ 15:20 (10')	15:10~ 15:20 (10')
短学活 (10~15')	14:45~ 14:55 (15')	A: 全校集会 B: 学友会活動 C: 学習相談	D: あさひの Learning E: あさひのプロジェクト	15:30~ 15:40 (10')	15:30~ 15:40 (10')
生徒下校	15:05 長 15:20 須 15:24	15:50 長 16:00 須 15:56	15:50 長 16:00 須 15:56	15:50 長 16:00 須 15:56	15:50 長 16:00 須 15:56
諸活動(60') 15:50~16:50 長 17:15 須 17:03		部活動 学友会活動		部活動 学友会活動	
職員諸会合	全校研 グループ研 学年会		職員研修 グループ研 教科会	終礼 第1・3金曜日のみ	定時活動日

### ＜あさひのラーニングとプロジェクトの調整＞

- ・原則、全校一斉実施とするが、学年対応も可

### ＜計画休業、祝日、諸会合等による欠落授業＞

- ・全校学活、全校道徳、探究の時間、参観日、特別日課（教育実習、水泳授業など）で補完

### ＜1学年の音楽・美術の補充、理科・保体の授業会場の確保＞

- ・火曜の学級活動、水曜の探究の時間で調整

### ＜職員諸会合＞

- ・月曜日と水曜日の放課後のみとする